

みなさん、おはようございます。

今年度の、仁科台中学校の学校づくりのねらいは『聴く学校』を合言葉とする学校づくりと生徒がともに学ぶ対話を基盤とした授業づくりを通して、自己調整学習力を高め、自律した学習者を育成する」というものです。

4月に、全校のみなさんに、「お互いが、かけがえのない大事な存在であることを認め合うことが重要です。そのために、「聴く」ことが基本である」とお話ししました。

普段の様子を振り返るときに「聴く」ことができているでしょうか。

「聴く」とは、「耳を傾け、相手の心に寄り添いながら聴く」「相手の気持ちやその背景をも理解しようと心から共感する姿勢で相手の言葉を聴く」ことです。これを「傾聴」といいます。

この「傾聴」は、音や言語を情報として耳に入れる「聞く」よりも、相手とつながろうとする意志をもつものです。

今年度の後半のスタートにあたり、もう一度振り返ってみてください。

そして、「聴く」ことをさらに大切にしてください。

今年度始めたことの一つに「スケジュール帳（フォーサイト手帳）」があります。前期をふりかえって、アンケートを行いました。ここで、その結果のいくつかを紹介します。

全校の様子です。

1 時間を意識するようになりましたか

という質問に対して、60%の生徒が時間を意識するようになっています。

2 計画を立てることを意識するようになりましたか

という質問に対して、59%の生徒が計画を立てることを意識するようになっています。

3 忘れ物が減りましたか

という質問に対して、55%の生徒が忘れ物が減ったと答えています。

1 学年の様子をみると次のような結果でした。

4 やるべきことができるようになりましたか

という質問に対して、82%の生徒が肯定的に答えています。

5 計画通り学習を進められるようになりましたか

という質問に対して、79%の生徒が肯定的に答えています。

6 自分に自信がついてきましたか

という質問に対して、64%の生徒が肯定的に答えています。

1年生は、中学校に入学したと同時にこのスケジュール帳を使いました。

2、3年生は、今までの生活ノートの方が使い勝手がいい人が多いかもしれません。

しかし、使いようによっては、1年生のように学習面や生活面で有効に活用することが期待できません。データによると、「1日にフォーサイト手帳を3回以上開くと効果が高まる」そうです。ぜひ、自分の生活向上のために活用してみてください。

また、1学期に、色々な検査やアンケートを行いました。それらの結果を見てみます。

今年度は、全国学力学習状況調査が中止となりました。しかし、本校では、年ごとの変化をみるために、全校のみなさんにその質問紙調査を行いました。

①自分には、よいところがあると思いますか

という質問に対して「当てはまる」と答えた生徒は16.8%でした。

②先生は、あなたのよいところを認めてくれると思いますか

という質問に対して「当てはまる」と答えた生徒は25.7%でした。

③人の役に立つ人間になりたいと思いますか

という質問に対して「当てはまる」と答えた生徒は55.2%でした。

④家で、自分で計画を立てて勉強している

という質問に対して「当てはまる」と答えた生徒は25.7%でした。

③の「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」について「当てはまる」と答えた人が多いことはうれしいことです。

④の「家で、自分で計画を立てて勉強している」について「当てはまる」と答えた人は昨年よりも増えていました。

①、②についても、もっと高くなるように学校として取り組んでいきたいと思います。

さらに、「NINO」といった検査を行いました。

すると、みなさんの「認知力」「思考力」「学習に向かう力」が、項目によって、全国平均よりも高いことがわかりました。

「対話を基盤とした授業」によって、「思考力・判断力・表現力」を高めていくことがこれからの学校教育の中心となります。

1年の後半の授業で、先生方と一緒に作る授業で、この力を伸ばしていきましょう。